

工事内訳書

記入例

No.	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
	1 階居室	修理する部屋ごとに記載してください					○印が対象工事
1	既存外壁材解体撤去	窯業系サイディング 16mm	7.0	m ²			数量や明細を詳細に記載（「〇〇工事一式」で表記しない）
		メーカー名、建材名					
2	既存外壁断熱材解体撤去	グラスウール 50mm	7.0	m ²			
		メーカー名、建材名					壁内部も焼損のため
3	既存アルミ製窓解体撤去	W1,800×H2,100 ガラス t6	1	箇所			修理前、修理後の建材名や型式を記載してください ※ 不明な場合は、その旨記載し、修理に使用する材料が同等品であることを、できるだけ詳細に記載すること
		メーカー名、型式					
4	既存内壁石膏ボード解体撤去	PB t12 クロス張り仕上げ	6.5	m ²			
5	外壁胴縁補修	杉 21×45	7.0	m ²			室内側壁も焼損のため
6	外壁材新設	窯業系サイディング 16mm	7.0	m ²			
		メーカー名、建材名					No.1後継品
7	外壁断熱材	グラスウール 50mm	7.0	m ²			
		メーカー名、建材名					No. 2 同等品
8	アルミ製窓	W1,800×H2,100 ガラス t6	1	箇所			
		メーカー名、型式					No. 3 後継品
9	内壁石膏ボード張り	PB t12	6.5	m ²			
10	内壁クロス仕上げ	メーカー名、建材名	6.5	m ²			No. 4 後継品

数量や明細を詳細に記載（「〇〇工事一式」で表記しない）

修理前、修理後の建材名や型式を記載してください
※ 不明な場合は、その旨記載し、修理に使用する材料が同等品であることを、できるだけ詳細に記載すること

下地の修理を行う場合は仕上げも対象となります（仕上げ材のみの修理は対象外）

工事内訳書

記入例

No.	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
11	廃材処分		1	式			
	小計						
	1 階トイレ						
12	既存外壁材解体撤去	窯業系サイディング 16mm	4.5	m ²			
		メーカー名、建材名					
13	既存外壁断熱材解体撤去	グラスウール 50mm	4.5	m ²			壁内部も焼損のため
		メーカー名、建材名					
14	既存アルミ製窓解体撤去	W600×H900 ガラス t6	1	箇所			
		メーカー名、型式					
15	既存内壁石膏ボード解体撤去	PB t12 クロス張り仕上げ	4.0	m ²			室内壁も焼損のため
16	既存大便器解体撤去	温水洗浄便座共					窓損壊により延焼
17	外壁胴縁補修	杉 21×45	4.5	m ²			
18	外壁材新設	窯業系サイディング 16mm	4.5	m ²			
		メーカー名、建材名					No.12後継品
19	外壁断熱材	グラスウール 50mm	4.5	m ²			
		メーカー名、建材名					No.13同等品

備考欄に補足説明を記載
してください（判断しや
すくなります）

工事内訳書

記入例

No.	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
20	アルミ製窓	W600×H900 ガラス t6	1	箇所			
		メーカー名、型式					No.14後継品
21	内壁石膏ボード張り	PB t12	4.0	m ²			
22	内壁クロス仕上げ	メーカー名、建材名	4.0	m ²			No.15後継品
23	大便器交換	温水洗浄便座共					
		メーカー名、型式					No.16後継品
22	廃材処分		1	式			
	小計						
23	既設雨戸解体撤去	W1,800×H2,100	1	箇所			
24	既設外部照明解体撤去		1	箇所			
25	雨戸交換	W1,800×H2,100	1	箇所			
26	外部照明交換		1	箇所			
27	廃材処分		1	式			
	小計						
	諸経費		1	式			
	計						

・小便器は対象外
 ・2階の大便器が無
 事の場合は対象外
 ・暖房便座から洗浄
 便座への交換（グ
 レードアップ）は対
 象外

工事内訳書

記入例

No.	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
	消費税						
	合計	総工事費					
	工事費の按分						
	対象工事費	応急修理分	1	式			
	対象工事 諸経費		1	式			
	小計						
	消費税						
	計						
	対象外工事費	被災者負担分	1	式			
	対象外工事 諸経費		1	式			
	小計						
	消費税						
	計						
	合計	総工事費					

諸経費、消費税は、対象工事分と対象外工事分の金額にて按分して記載してください

対象工事費（応急修理分）と対象外工事費（被災者負担分）の合計